

有限会社 目黒金属商会

環境活動レポート

2018年度

(対象期間 2018年6月～2019年5月)

目 次

1. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日・・・・・・・・ 2頁
3. 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3頁
4. 環境目標及びその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4頁
5. 環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5頁
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・ 6頁
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無・・・・・・・・ 7頁
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・ 8頁

2019年6月26日制定

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

有限会社目黒金属商会 代表取締役 加藤 義実

2) 所在地

本社 : 東京都目黒区東山1丁目17番地6号 (認証登録事業所)

青葉台営業所: 東京都目黒区青葉台1丁目30番地12号 (認証登録事業所)

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 加藤 賢一

連絡先 電話 03-3791-2601

FAX 03-3711-0329

電子メール megurokinzoku-k.k@nifty.com

4) 設立年月日 1951年5月31日

5) 事業の内容

飲料缶の集荷・加工・販売

当社の事業で許可が必要なものはありません。

6) 事業の規模

事業規模	単位	2016年度	2017年度	2018年度
資本金	百万円	10	10	10
売上高	百万円	132	150	130
従業員数	人	7	7	7
床面積	m ²	262	262	262

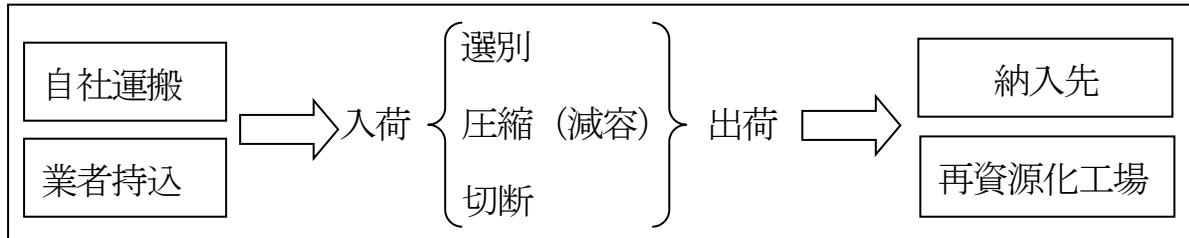
7) 施設等の状況

液圧プレス機 (15kw) 1台

せん断機 (2.2kw) 1台

フォークリフト	2台
2トントラック	1台

8) 処理工程図



9) 処理実績

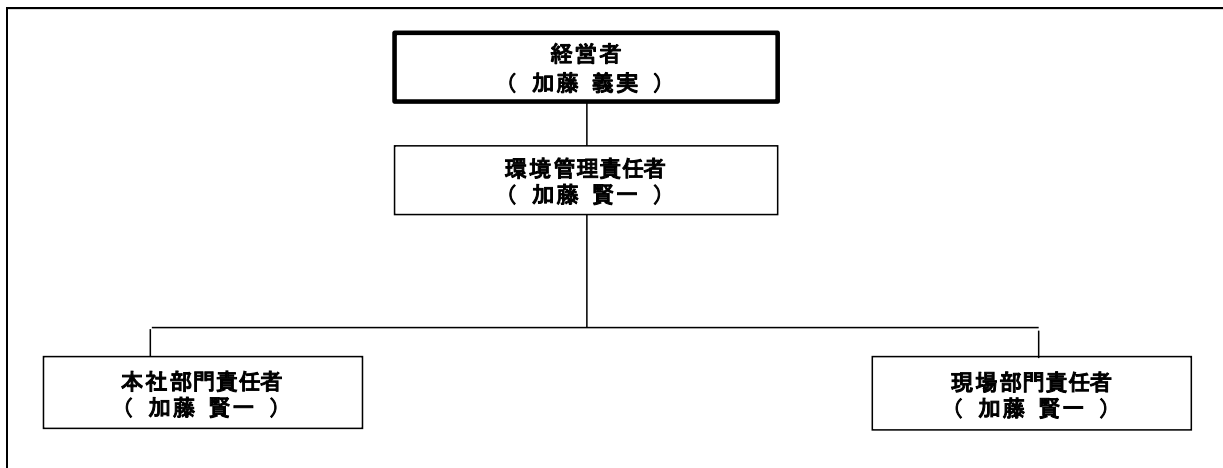
産業廃棄物の処理はありません。

飲料缶の取扱量は822トン（2018年度）。

10) 廃棄物処理料金

産業廃棄物の処理はありません。

11) 組織図



2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

1) 対象範囲は「1. 2) 所在地」欄及び「1. 5) 事業の内容」に記載

2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

3. 環境方針

環境方針

有限会社目黒金属商会は、非鉄金属のリサイクルを通じ、限りある資源の有効活用（再資源化）に努めると共に、環境負荷の継続的な削減・低減、並びに環境関連法規等の遵守を推進して参ります。

環境行動指針

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 機械設備・照明設備・空調設備の効率的な運用により、使用エネルギーの削減に取り組みます。
- ② エコドライブによって排ガスの抑制に努めます。

2. 廃棄物排出量削減

- ① 排出される廃棄物の分別の徹底とリサイクルを促進し、排出量削減に努めます。

3. 水使用量削減

- ① 日常的な節水による水使用量の削減に努めます。
- ② 水道配管からの漏洩を定期的に点検します。

4. グリーン購入の推進

- ① エコマーク商品や循環製品等の環境配慮の製品・サービスの購入に努めます。

5. 環境配慮製品・サービスの提供

- ① 非鉄金属の再資源化率100%を目指します。

全ての従業員の環境に関する意識を高め、全員で環境改善に取り組みます。
この環境方針を当社で働くすべての従業員に周知します。

2011年10月1日制定

2012年3月2日改定

有限会社 目黒金属商会

代表取締役 加藤 義実

4. 環境目標及び環境目標の実績

2018年度

No	環境方針 (キーワード)	環境目標項目	基準値	CO2 換算係数	2018年度	2018年度		2019年度	2020年度
			(2017年度年間実績)		目標	実績	達成度	目標	目標
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 20 %増加		○	2018年度に対して 現状維持	2018年度に対して 現状維持
			15,676 kWh	0.418	18,744 kWh/年以下	17,707 kWh/年		18,744 kWh/年以下	18,744 kWh/年以下
		自動車燃料消費量の削減	ガソリン消費量<L>		基準値に対し 28 %削減		○	基準値に対し 28 %削減	基準値に対し 28 %削減
			832	2.322	599 L/年以下	471 L/年		599 L/年以下	599 L/年以下
		軽油消費量<L>		基準値に対し 38 %削減		○	基準値に対し 38 %削減	基準値に対して 38 %削減	
875	2.624	540 L/年以下	342 L/年	540 L/年以下	540 L/年以下				
計(kg-CO ₂)		10,780 kg-CO ₂		10,642 kg-CO ₂ /年以下	9,392 kg-CO ₂ /年	○	10,642 kg-CO ₂ /年以下	10,642 kg-CO ₂ /年以下	
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		基準値に対し 50 %増加		○	2018年度に対して 現状維持	2018年度に対して 現状維持	
		12068 kg		18,156 kg/年以下	17,973 kg/年		18,156 kg/年以下	18,156 kg/年以下	
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	水道使用量		基準値に対し 100 %維持		○	基準値に対し 100 %維持	基準値に対し 100 %維持	
		87 m ³		87 m ³ /年以下	86 m ³ /年		87 m ³ /年以下	87 m ³ /年以下	
4	グリーン購入の推進 <エコ事務用品購入額/ 事務用品総購入額>	事務用品のエコ商品購入率		調達時はグリーン購入に 配慮する	調達時はグリーン購入に 配慮する		調達時はグリーン購入に 配慮する	調達時はグリーン購入に 配慮する	
		2011年度実績 13 %							
5	非鉄金属再資源化率向上 (再資源化業者への出荷量/ 受け入れた非鉄金属量)	再資源化率		基準値に対し 100%維持		○	基準値に対し 100%維持	基準値に対し 100%維持	
		100 %		100 %	102 %		100 %	100 %	

* : 電力使用量の二酸化炭素排出係数は、2008年度東京電力の排出係数0.418 (kg-CO₂/kWh) を用いた。

5. 環境活動計画 2018年度

No	環境目標項目	基準値(2017年)	目標値	CO ₂ 換算	具体的活動内容	推進責任者	担当者	実績評価項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年度計								
1	二酸化炭素排出量の削減	電力消費量 15,676 <kWh>	基準値の 20%増加 18,744 <kWh/年以下>	0.418	①不使用照明の消灯 ②OA機器をセーブモード設定 ③空調の適温化(冷房28、暖房20度) ④不使用時の電源OFF ⑤設備機器メンテナンス実施	社長	環責	電力 kWh	活動予定	①~④ 実施																			
									進捗評価	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
									目標値	1,524	1,660	1,650	1,590	1,400	1,560	1,500	1,750	1,550	1,550	1,460	1,550	1,460	1,550	1,460	1,550	1,460	1,550	18,744	
	2) 自動車燃料消費量の削減	自動車燃料消費量 ガソリン 832 <L/年以下> 軽油 <L> 875	ガソリン 基準値の 28%削減 599 <L/年以下> 軽油 基準値の 38%削減 540 <L/年以下>	2.322	①エコドライブの励行 ②タイヤの空気圧を定期的に確認し適正値に保つ ③走行距離の短縮化 ④定期的車面整備を実施	社長	環責	自動車燃料	活動予定	①~③ 実施																			
									進捗評価	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									目標値	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49	599	
	計(kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 10,780 <kg-CO ₂ >	CO ₂ 排出量 10,642 <kg-CO ₂ /年以下>	[数値目標/実績]	CO ₂ 排出量 kg	CO ₂ 排出量 kg	活動予定	①~④ 開始																					
							進捗評価	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
							目標値	871	928	924	899	819	886	861	966	882	882	844	879	10,642									
	2	廃棄物排出量の削減	廃棄物 総排出量 12,068.0 <kg>	基準値の 50%増加 18,156 <kg/年以下>	①廃棄物量の測定(排出毎) ②分別収集・リサイクルの推進 ③IT化をすすめ、紙使用量の削減 ④使捨て製品の使用や購入抑制	社長	環責	廃棄物排出量 kg	活動予定	①~④ 開始																			
進捗評価									○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
目標値									1,550	1,560	1,620	1,580	1,500	1,460	1,500	1,486	1,400	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	18,156		
実績値									1,550	3,110	4,730	6,310	7,810	9,270	12,256	13,656	15,156	16,656	18,156	18,156	18,156	18,156	18,156	18,156	18,156	18,156	18,156	18,156	
実績値									1,524	1,536	1,598	1,524	1,606	1,434	1,516	1,542	1,434	1,374	1,403	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	17,973
3	水使用量の削減	水道使用量 87.0 <m ³ >	基準値の 100%維持 87 <m ³ /年以下>	①節水表示 ②バルブの調整 ③手洗いや洗いや、洗車時の節水(流し放しにしない) ④年に2回漏水点検	社長	環責	水使用量 m ³	活動予定	①~③ 開始																				
								進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
								目標値	14	15	15	15	15	14	14	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	87		
								実績値	14	29	44	44	58	73	87	87	73	73	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	
								実績値	13	13	14	14	14	14	16	15	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	85
4	グリーン購入の推進	事務用品のエコ商品購入率 2011年度 13 <%>	調達時はグリーン購入に配慮する	①リストアップした対象商品を購入 ②エコ商品に配慮した購入	社長	環責	グリーン購入	活動予定	開始																				
								進捗評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
								目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
								実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
								実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	非鉄金属再資源化率向上 <再資源化業者への出荷量/受け入れた非鉄金属量>	再資源化率 98 <%>	基準値の 100%維持 100 <%>	①検収能力の向上 ②ムダ・ムリ・ムラな作業を無くす。 ③適切なメーカーに納入 ④非鉄金属以外も再資源化に取り組み。	社長	環責	環境配慮商品・サービス提供	活動予定	①②③④実施																				
								進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
								目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
								実績値	110%	105%	103%	110%	89%	116%	85%	128%	85%	113%	84%	99%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	
								実績値	110%	108%	106%	107%	104%	105%	103%	106%	104%	105%	103%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	102%	

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

エコアクション21の活動を開始し環境に関する意識は相当高まった。今後、毎月、PDCAを確実に回し、継続的に改善をしていく。各活動項目の結果・評価と今後の改善への取り組み内容は次のとおりです。

No	環境方針 (キーワード)	環境目標項目	具体的取組内容	取 組	
				結 果 ・ 評 価	次年度の内容
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①不使用照明の消灯 ②OA機器のセーブモード設定 ③空調の適温化(冷房28℃、暖房20℃) ④不使用時の電源OFF ⑤設備機器の定期メンテナンス実施	全員に教育・訓練を実施し、具体的取組内容に記載した内容を全員で取り組んだ結果、目標を達成したことが出来た。限界には近づいてきたが今後とも継続して取り組みます。(○)	次年度も継続して取り組む。
		自動車燃料消費量の削減	①エコドライブの励行 ②タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値に保つ ③定期的車両整備を実施 ④走行距離の短縮化	具体的取組内容に記載した内容を全員で取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。もう少しだが削減余地があるので、今後とも継続して取り組みます。(○)	次年度も継続して取り組む。
2		廃棄物排出量の削減	①廃棄物量の測定(排出毎) ②分別、リサイクルの推進 ③IT化を進め、紙使用量の削減 ④使い捨て製品の使用や購入抑制	具体的取組内容に記載した内容を全員で取り組んだ結果、目標未達月もあったが年間を通して目標を達成することが出来た。今後とも継続して取り組みます。(○)	次年度も継続して取り組む。
3		水使用量の削減 ＜水道使用量：m ³ ＞	①節水表示 ②節水コマの導入 ③手洗いや洗い物、洗車時の節水(流し放しにない) ④年に2回漏水点検	具体的取組内容に記載した内容を全員で取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。今後とも継続して取り組みます。(○)	次年度も継続して取り組む。
4		グリーン購入の推進 ＜エコ事務用品購入額／事務用品総購入額＞	①購入可能環境配慮商品の調査 ②購入環境配慮商品のリストアップ ③リストアップした対象商品を購入	環境配慮商品のリストアップを行い、積極的に環境配慮商品の購入に努めた。(○)	次年度も継続して取り組む。
5		非鉄金属の再資源化率向上 (再資源化業者への出荷量／受け入れた非鉄金属量)	①検収能力の向上 ②ムダ・ムリ・ムラな作業を無くす ③適切なメーカーに納入 ④非鉄金属以外の再資源化にも取り組む	月間で出荷量が変わるため実績値にばらつきはあるものの、一年を通して目標を達成し行動できたと思います。(○)	本年度の取組を更に維持・向上に努める。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2019年6月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。

環境関連法規等遵守状況

区分	環境関連法規等名称	当社該当事項	遵守事項等	管理部署 責任者	遵守状況確認・評価	
					チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物の処理)	一般廃棄物の 処理委託	①一般廃棄物を適正に分別し、保管 ②区条例に従って排出又は環境省令で定める もつぱら物回収業者に委託 ③許可を取った一般廃棄物収集運搬業者に委託	加藤(賢)	2019/6/24	○
	目黒区廃棄物の処理およびリサイクルに関する 条例	一般廃棄物の 処理、保管	①減量化、再資源化、 ②適正処理(廃掃法に従って一般廃棄物収集 運搬業者に依頼、又は有料シールを貼って排出) ③保管場所の設置及び種類等の表示 ④保管場所の管理	加藤(賢)	2019/6/24	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品 化法 (家電リサイクル法)	ブラウン管・液晶 テレビ、冷蔵庫、 洗濯機、ユニット エアコンの廃棄	①特定家庭用機器排出した場合、料金を支払い、 適切に引き渡す。また、特定家庭用機器廃 棄物管理票の写しを受取1年間保管、または、 産業廃棄物管理票を交付している場合は、廃 棄物処理法に従う	加藤(賢)	2019/6/24	○
	使用済自動車の再資源化等 に関する法律 (自動車リサイクル法)	自社自動車の 廃棄	⑦自社使用済み自動車のリサイクル処分	加藤(賢)	2019/6/24	○
騒音・振動	騒音規制法	液圧プレス機	①規制基準が遵守できる騒音防止対策 ②液圧プレス機の届出	加藤(賢)	2019/6/24	○
	振動規制法	液圧プレス機 せん断機	①規制基準が遵守できる振動防止対策 ②液圧プレス機・せん断機の届出	加藤(賢)	2019/6/24	○
	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (東京都環境確保条例) (東京都指定地域の騒 音・振動規制基準)	液圧プレス機 液圧プレス機 せん断機 ホイスト 液圧プレス機 せん断機	規制値を遵守 騒音は第3種区域 振動は第2種区域 基準を遵守 知事の許可を受ける	加藤(賢)	2019/6/24	○
大気汚染	自動車から排出される窒素 酸化物及び粒子状物質の特定 地域における総量の削減 等に関する特別措置法 (自動車NOx・PM法)	ディーゼル トラック	排ガス基準適合車の使用 対象自動車 2台 認定 2台	加藤(賢)	2019/6/24	○
	東京都環境確保条例	ディーゼルトラック	排出ガス基準適合車を使用	加藤(賢)	2019/6/24	○

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2019年 6月 24日 (<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し)			
見直し対象期間	2018年 6月 1日 ~ 2019年 5月 31日			
出席者	代表者、環境管理責任者			
前回の指示への取組結果				
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等の遵守記録による) ②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(環境活動計画書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正処置／予防処置報告書による) ④外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑤その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)			
代表者による 評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、③、④、⑤等を踏まえて評価)			
	有効に機能している			
	【環境への取組が適切に実施されているか】 (②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	CO2排出量の削減	○	○	具体的取組内容に記載した内容を全員で取り組んだ結果目標を達成した。次年度も継続して取り組む。
	廃棄物排出量の削減	○	○	目標を達成することが出来た。次年度も継続的に分別・リサイクルに取り組む。
	水使用量の削減	○	○	目標を達成することが出来た。次年度も継続的に水の使用量削減に取り組む。
グリーン購入の推進	○	○	環境配慮商品のリストアップを行い、積極的に購入に努めた。次年度も積極的に環境配慮商品を購入し、グリーン購入に努める。	
再資源化率の向上	○	○	継続的に取組、更に維持・向上する。	
代表者による 見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的な指示事項	【環境方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	【環境目標及び環境活動計画】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	変更の必要性の有無・変更に必要な具体的な指示事項			
	変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

以上